



平成22年6月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	45,374,934 万円	100.0%	100.9%(98.2%)	43,367,871 万円	97.7%(95.3%)
食 料 品	37,291,719 万円	82.2%(82.5%)	101.3%(98.6%)	35,577,319 万円	98.1%(95.5%)
農 産	5,593,095 万円	12.3%(12.5%)	101.8%(100.2%)	5,344,749 万円	98.7%(97.2%)
水 産	3,729,340 万円	8.2%(8.5%)	99.8%(97.8%)	3,556,125 万円	96.7%(94.8%)
畜 産	4,096,213 万円	9.0%(9.4%)	99.2%(98.0%)	3,905,262 万円	95.9%(95.0%)
惣 菜	3,687,604 万円	8.1%(8.4%)	102.5%(100.6%)	3,518,979 万円	99.2%(97.2%)
日配食品	8,591,282 万円	18.9%(18.6%)	102.4%(99.0%)	8,185,807 万円	99.0%(95.7%)
加工食品	11,594,185 万円	25.6%(25.1%)	101.1%(97.2%)	11,066,397 万円	98.0%(94.3%)
生活関連	3,390,545 万円	7.5%(7.2%)	99.5%(95.8%)	3,261,283 万円	97.2%(93.6%)
衣 料 品	2,036,864 万円	4.5%(4.1%)	96.0%(92.6%)	1,988,559 万円	94.6%(91.4%)
そ の 他	2,655,806 万円	5.9%(6.1%)	100.7%(100.4%)	2,540,710 万円	96.3%(97.3%)

② 数 値

全店総売上高	45,374,934 万円	店 舗 数	4,048 店舗
総売場面積	7,608,562.4 m ²	総従業員数	216,614 人

店舗平均月商	11,209.2 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,776.8 円 (98.1%)
月間m ² 売上(前月)	6.0 万円 (6.0 万円)	平均店舗面積	1,879.6 m ²
月間坪売上(前月)	19.7 万円 (19.9 万円)	パート比率(前月)	75.9% (75.9%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 気温が昨年と比べ高く推移したことから、涼味商材のアイス、飲料、冷し中華、豆腐等が大きく売上を伸ばし、全体の売上を伸長させた
- ・ 野菜は天候不順による相場高、果物は国産品の食味が悪く、畜産は相場高による不振、水産も水温の低下による不漁等で、生鮮全体が不調であった
- ・ 相変わらず競合新規出店との価格競争も激化しており、厳しい収益環境にあり、全体の利益率が低下傾向にあった

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ サラダ商材のきゅうり、トマトを中心に旬のトウモロコシも多く出回り、枝豆、葉しょうがなどのおつまみ関連の動きが良かった
- ・ スイカは産地状況が悪く相場高で推移。1週間程度遅れての量販となり、1玉売りも厳しかった
- ・ 国産さくらんぼは、産地の長雨の為、品質・味ともに悪く苦戦。アメリカンチェリーは好調だった

○ 水産

- ・ うなぎ蒲焼は、気温が高かったこともあり、好調に推移した。国産、中国産ともに良かった
- ・ 初夏の刺身主力商品のカツオは、水揚げ、相場も安定して回復基調であった
- ・ いわしは豊漁で、調理済み品が好調。一方で、いか・あじは水温が低く、水揚げが少なかった

○ 畜産

- ・ 地域差はあるが、口蹄疫の影響はほとんどない。豚肉の相場高で全体の売上は引き続き低調であった
- ・ 気温の上昇とともに焼肉商材の動きが良い。豚肉を中心に冷しゃぶの動きも良い

○ 惣菜

- ・天ぷら、フライが好調。気温が高かったことも影響して、サラダ商材も良かった
- ・おつまみ類の焼き鳥や枝豆、中華材料のレバニラ炒めや肉団子、餃子が好調だった
- ・米飯類の中で、相変わらず低価格弁当、おにぎりは好調だった

○ 日配・加工食品

- ・例年に比べ暑く、飲料、アイスクリーム、ところてん、冷やし中華の動きが良かった
- ・牛乳類は不調が続き、無調整はマイナス、加工乳はプラスとなる。価格帯の高いNB商品は苦戦した
- ・ワールドカップのテレビ観戦需要でビール、おつまみ、飲料を中心に好調だった
- ・お酒は、ハイボール人気不衰えないうiskiとマッコリーが好調だった

○ 父の日

- ・プレミアムビール、ウiski、ステーキ等のワンランク上の商品の動きが良かった。刺身、オードブル、おつまみ商材、日本酒が好調だった
- ・母の日は少し健康を意識した商品の動きが良かったが、父の日はごちそう、おつまみ商材が好調だった

○ サマーギフト

- ・6月の滑り出しは順調で、中心価格帯は2000円～3000円代で、割引率の高い商品の動きが良かった
- ・参議院選挙告示後は、選挙の影響で需要の後ろ倒しが予想された。調味料ギフトで花王エコナの影響は大きく、売上は苦戦した

以上